

みずほCustomer Desk Report 2024/02/05 号 (As of 2024/02/02)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	146.48 AUD/USD
TKY 9:00AM	146.47	1.0875	159.28	1.2748	0.6575
SYD-NY High	148.58	1.0897	160.25	1.2772	0.6610
SYD-NY Low	146.25	1.0781	159.08	1.2614	0.6504
NY 5:00 PM	148.40	1.0791	160.05	1.2633	0.6512

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,654.42	134.58	日本2年債	0.0900%	0.0100%
NASDAQ	15,628.95	267.31	日本10年債	0.6600%	▲0.0300%
S&P	4,958.61	52.42	米国2年債	4.3700%	0.1614%
日経平均	36,158.02	146.56	米国5年債	3.9851%	0.1688%
TOPIX	2,539.68	5.64	米国10年債	4.0228%	0.1416%
シカゴ日経先物	36,440.00	290.00	独10年債	2.2280%	0.0900%
ロンドンFT	7,615.54	▲ 6.62	英10年債	3.9170%	0.1725%
DAX	16,918.21	59.17	豪10年債	3.9840%	▲0.0340%
ハンセン指数	15,533.56	▲ 32.65	USDJPY 1M Vol	8.42%	▲0.62%
上海総合	2,730.15	▲ 40.59	USDJPY 3M Vol	9.59%	▲0.12%
NY金	2,053.70	▲ 17.40	USDJPY 6M Vol	9.59%	▲0.02%
WTI	72.28	▲ 1.54	USDJPY 1M 25RR	▲1.13%	Yen Call Over
CRB指数	267.74	▲ 1.97	EURJPY 3M Vol	9.32%	▲0.09%
ドルインデックス	103.92	0.87	EURJPY 6M Vol	9.51%	▲0.01%

東京	東京時間のドル円は146.47レベルでオープン。日銀政策決定会合・FOMCと注目イベントが終了し、本日NY時間の米雇用統計の発表を控えドル円は終始限定的な値動きとなった。結局、ドル円は146.42レベルでクローズした。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.42レベルでオープン。午後に米1月雇用統計を控え、方向感なく推移し、結局146.58レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は146円台半ばでスタート。注目の米雇用統計の結果発表を控え、146.40付近を挟んだ狭い値動きが続き、146.58レベルでNYオープン。朝方に発表された米1月非農業部門雇用者数変化指数と平均時給予想を上回り、失業率も予想を下回った事を受け、米労働市場が依然逼迫している思惑から、ドル買いが優勢となる。その後に発表された米1月ミシガン大学5-10年先の期待インフレ率が上方修正された事を背景にドル買いの流れが続き148.58まで上伸。午後は買い一巡となり、148.30付近まで反落。その後週末を控え、次第に動意乏しくなり、148.40レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。米雇用統計の結果待ち姿勢から、1.0880近辺を中心とした小動きが続き、1.0881レベルでNYオープン。午前中は強い米経済指標の結果を受け、米金利が上昇する展開が重しとなり、1.0781まで下落。午後米金利が高水準で推移する展開を横目に、1.0790近辺で上値重い値動きが続き、1.0791レベルでクローズ。

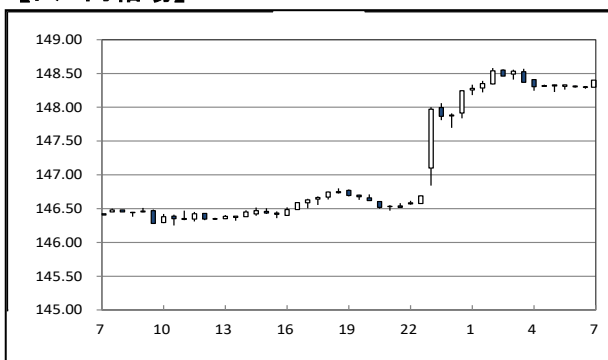
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月2日	16:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 1.1%/0.9%	0.2%/-0.2%
	16:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	12月 1.2%/0.9%	0.2%/-
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	1月 353k	185k
	22:30	米 失業率	1月 3.7%	3.8%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	1月 0.6%/4.5%	0.3%/4.1%
2月3日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	1月 79.0	78.9
	00:00	米 製造業受注(前月比/除輸送)	12月 0.2%/0.4%	0.2%/0.2%
	00:00	米 耐久財受注(前月比/除輸送)・確報	12月 0.0%/0.5%	0.0%/0.6%

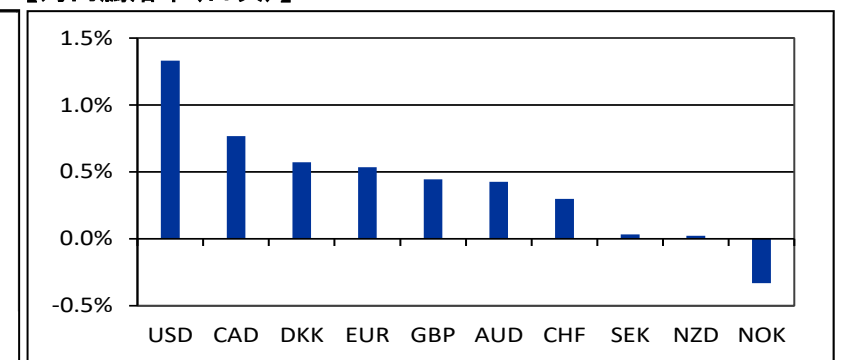
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月5日	09:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	09:30	豪 貿易収支	12月 A\$10500m	A\$11437m
	18:00	欧 サービス業/コンポジットPMI・確報	1月 48.4/47.9	48.4/47.9
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	12月 -0.8%/-10.5%	-0.3%/-8.8%
	23:45	米 サービス業/コンポジットPMI・確報	1月 52.9/52.4	52.9/52.3
2月6日	00:00	米 ISM非製造業	1月 52.0	50.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.50-149.50	1.0750-1.0950	159.00-161.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は大きく上昇した。ドル円は朝方より146円台を回復。その後は上値の重いまま、海外時間に控える米雇用統計発表まで様子見となり、狭いレンジ推移が継続した。海外時間に入り、予想を大きく上回る米雇用統計の結果を受け、米長期金利も上昇。ドル円は週初と同レベルの148円台まで上昇。週高値148.58をつけ、148.40レベルでクローズした。本日のドル円は底堅い展開を予想。金曜日の米雇用統計は、米1月非農業部門雇用者数(結果+35.3万人、予想+18.5万人)、米1月平均時給(結果+0.6%、予想+0.3%)共に予想対比上振れ、米1月失業率(結果3.7%、予想3.8%)も良好な結果となった。本日については日本時間9時からパウエルFRB議長のテレビ番組(収録済)放送が予定されており、利下げについての回答に注目が集まる。米1月ISM非製造業景気指数も発表されるが、高金利下における米経済の底堅さが示された状況下であることを踏まえると、影響は限定的とみる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大野・岩下